

古巻 豊秋地区の自治会長との懇談会



11月に市内を9地区に分けて、自治会長との懇談会を開きました。昨年からのコロナ禍で、さまざまな行事が中止になり、自治会長の皆さんは地域の絆を維持することに苦勞しています。

懇談会では、自治会役員の確保、空家の増加、道路の草



刈りなど、さまざまな課題や悩みが話されました。私も以前に5年間ほど自治会長をしていました。大変なこともありましたが、住民から頼りにされて、やりがいも感じていました。

自治会活動の役割は、子どもや高齢者の見守り、災害への対応、生活環境の改善など多岐に渡っています。そして今、コロナ禍で自治会活動の維持が重要となり、地域内の「共助」の必要性が高くなっています。

「人の世話にはならないし、役員が回ってきても面倒だから自治会に入らない」という人がいると聞きます。しかし、地域社会は共に支え合うことで成り立っています。社会は、自治会に限らず、消防団や交通指導員、民生委員など、さまざまなボランティアでの活動に支えられています。

私は、市長の仕事を大きな「浜川市自治会」の会長のように思っています。市民の皆さん一人一人が、地域社会の構成員であること、共に助け合うことの必要性を意識し、改めて自治会の役割を考えてみてください。

今年も師走になりました。コロナ禍に負けず、良い年をお迎えください。

浜川市美術館・桑原巨守彫刻美術館(☎3215)

美術の小窓



《出番を待つ踊り子》

桑原巨守作
1976年

高さ:92cm 素材:ブロンズ
毛皮のケープをはおり、演技の出番を待っている踊り子。顔の表情も緊張のせい少し強ばっているようです。表現者としての心情を表現した作品です。マロニエ通りにあるコインランドリー前に設置されています。

●イベントカレンダー

会場	展示内容	期日	観覧料
常設展示室	常設特別展 桑原巨守と教え子たち	12月2日(木) ～3月31日(木)	200円
企画展示室	The rising generation特別展 1×1+1=ワン・バイ・ワン・プラス・ワン	～12月5日(日)	
市民 ギャラリー	第5回 浜川美術協会展	12月9日(木)～13日(月) ※最終日は午後4時まで	無料
	下田紀史なにやっ展+ 浜高・浜女美術部展	12月15日(水)～20日(月) ※最終日は午後4時まで	

■開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

※観覧料は、65歳以上・中学生以下は無料

●12月の休館日 7日(火)、14日(火)、21日(火)、27日(月)～31日(金)

室町幕府の下で関東を支配したのは、鎌倉にいた関東管領上杉氏でした。上野国は上杉氏の領国ですが、実際の支配は家臣の長尾氏に任されていました。長尾氏は白井城や総社の菅海城に拠点を置き、上野武士の中核でした。

15世紀中ごろに西国で応仁・文明の乱が起き、関東ではそれより10年以上早く享徳の乱という内乱があり、時代は戦国の世の中へと突入しました。上杉氏と長尾氏の力は次第に衰え、代わって各地域の武士たちが勢力を増していきます。15世紀末には、自分たちとその領地を守るため、彼らは領内の要害の地に山城を築き始めます。

山城は敵の動きを察知しやすいように交通路を見下ろす場所に造られます。深い堀で尾根を断ち割ったり、高い土塁をめぐらせたりした防御性の高い区画が幾重にも重なっています。



赤城町見立二城(不動山城)の堀跡

古を訪ねて

45

戦乱の世と山城